

1面の続き 新型コロナウイルス情報

問い合わせ
草加市新型コロナワクチンコールセンター
☎0570-666-578
☎(税を含む)午前8時30分～午後5時15分

8月31日
まで開設
操作方法が分からない・スマートフォン等をお持ちでない人の
インターネット予約操作支援
予約の支援・予約の確認・変更・キャンセルをお手伝い

大規模接種会場での接種に変更した人は、予約のキャンセルを忘れずに


受付場所(①②は平日のみ、③は毎日実施)

場所	受付時間
① 市役所本庁舎西棟1階	午前8時30分～午後5時15分
② ・公民館(中央・柿木) ・文化センター(新里・谷塚・川柳・新田西)	午前8時30分～午後5時
③ ・であいの森 ・ふれあいの里	午前9時～午後5時

キャンセル方法

電話
コールセンター
☎0570-666-578

インターネット
予約システム
(QRコード)
<https://soka.hbf-rsv.jp>



●キャンセルしなかった場合、これから予約をする人の接種の機会が失われてしまいます。必ずキャンセルしてください。

●1回目の接種に来なかった場合、2回目の予約は自動的にキャンセルされます。(2回目の予約のキャンセルはコールセンターへ)

国際姉妹都市 カーソン市へメッセージを贈ろう!

草加市国際交流協会事務局(文化観光課内)
☎922-2403 ☎922-3406
✉sia021sia@gmail.com

アメリカ合衆国カリフォルニア州にあるカーソン市と草加市は、昭和54年に国際姉妹都市提携を行い、青少年使節団の相互派遣(ホームステイ)を行うなど、交流を深めてきましたが、コロナ禍により直接的な交流が困難となっています。そこで、メッセージを込めた動画をカーソン市と草加市で贈り合う交流を行います。



皆さんから寄せられた
写真や動画を1つの動画に編集して贈ります

動画は10月下旬にYouTube文化観光課チャンネルで公開予定です。過去の姉妹都市交流事業に参加した人、カーソン市との国際交流に興味がある人などどなたでも気軽にご参加ください。


まちの学校 ～小さく始めた人たちが変えた、 寂しかった商店街の日常～

産産業振興課 ☎922-0839 ☎922-3406


これから谷塚で新しいことを始めようとしている人たちに向けて、地域にユニークな仕事(=生きがい)を生み出すことを目指し活動する舟木公一郎氏を招いた講演を行います。講演では、シェアキッチンやURと連携した野菜の出張販売など様々な事業を実施する舟木氏が、寂しかった商店街で、地域の経済循環の活性化と創業支援を行いながら、どのように「生きがい」につながる「ナリワイ」を作り出したのかを話します。

■日時 8月2日(月)午後6時～7時30分
■会場 ビジネス旅館越後屋(瀬崎3-35-34)
■定員 40人

☎7月26日(月)までに草加市電子申請・届出サービス(QRコード)で。電話、ファクスでも可。

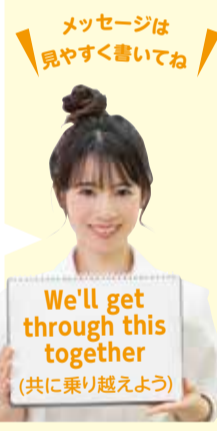


舟木 公一郎氏 ミドルン
シェアキッチンMIDOLINO代表。個性を活かした仕事づくり/協業をテーマに武蔵野市で「MIDOLINO」を開設。リノベーションまちづくりを実践し、4年間で13店舗のシャッターを開けることに助力。行政に依存しない地域自治、日本円がなくても生きていける社会の実現を目指す。



次の写真や動画を募集中 たくさんのご応募お待ちしております!

- ①メッセージ写真
英語のメッセージ(英語が苦手な人は日本語でも可)を書いた紙を持った人物写真。
- ②メッセージ動画(15～60秒)
英語のメッセージ(英語が苦手な人は日本語でも可)を話す人物動画。内容を申込用紙に記入(字幕用)
- ③過去の姉妹都市交流事業において撮影した人物写真 撮影日、場所を申込用紙に記入



☎8月31日(火)までに文化観光課ほかで配布する申込用紙(市ホームページでも入手可)に写真または動画、20歳未満の人は保護者の同意書を添えて草加市国際交流協会事務局(文化観光課内)へ(メールも可)。提出された写真や動画を取り込んだCD-R等は返却しません。

令和3年度 草加ふささら祭りの開催中止


草加ふささら祭り実行委員会(佐々木勲会長)は、新型コロナウイルス感染症の状況から、来場者の健康と安全が確保できないと判断し中止を決定しました。今後は感染症の動向に注視しつつ、令和4年度の開催に向けた準備を進めていきます。

☎草加ふささら祭り実行委員会(みんなでまちづくり課)
☎922-0796 ☎922-3406

できごとまちかど 6月

17・18日 絆の強みを再確認 町会主催のワクチン予約「お助け隊」

瀬崎第1、2、3町会と谷塚コロナ自治会で構成する谷塚東部ブロック(浅古二郎ブロック長)は、瀬崎コミセンで高齢者計43人のワクチン予約のお手伝いを行いました。お助け隊のメンバーは町会有志や文教大学あだちキャンパスの学生など約60人。



予約が取れた人たちは「家から徒歩で来られる場所で助かった」「瀬崎の町会の住民で幸せです」と喜び、浅古ブロック長は「困っている住人がいる時こそ町会が頑張る時。4町会の会長ほか、婦人部や若者の協力があって実現した。人の絆は心強くて嬉しいものですね」とお助け隊に感謝していました。

